

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社CSSホールディングス
 コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 林田 喜一郎
 (氏名) 吉原 伸幸
 配当支払開始予定日 未定

TEL 03-6661-7840

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	9,482	8.1	244	241.0	217	159.5	166	655.9
23年9月期第3四半期	8,773	△4.6	71	△41.8	83	△39.4	21	△68.6

(注)包括利益 24年9月期第3四半期 183百万円 (344.4%) 23年9月期第3四半期 41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	3,293.17	3,263.22
23年9月期第3四半期	435.66	431.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第3四半期	7,408	1,733	23.4	34,356.82
23年9月期	5,969	1,554	26.0	30,823.21

(参考)自己資本 24年9月期第3四半期 1,733百万円 23年9月期 1,554百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	100.00	100.00
24年9月期	—	0.00	—		
24年9月期(予想)				500.00	500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,474	7.5	171	138.8	137	73.3	98	1,233.3	1,957.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期3Q	52,856 株	23年9月期	52,856 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年9月期3Q	2,408 株	23年9月期	2,408 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	50,448 株	23年9月期3Q	50,448 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点における当期の連結業績予想は、平成23年11月16日に公表したのから変更はありません。(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要にけん引され緩やかな回復が続きました。企業収益が徐々に回復する中、消費者マインドや設備投資も回復傾向にあり、当社グループの主要顧客であるホテル業界、商業施設業界を取り巻く状況は順調に回復しながら推移致しました。

このような中、当社グループは、ホテル業界の稼働率の上昇や企業の設備投資計画に対応した業務提案に注力するとともに、清掃事業をはじめとする新規事業分野の立ち上げを推進し、収益確保に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は9,482百万円（前年同期比8.1%増）、連結営業利益は244百万円（前年同期比241.0%増）、連結経常利益は217百万円（前年同期比159.5%増）、連結四半期純利益は166百万円（前年同期比655.9%増）となりました。

続きまして、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

① スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

当事業は、ホテル・レストランにおける食器洗浄を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核事業です。

当第3四半期連結累計期間においては、本年5月に都心にグランドオープンした名門ラグジュアリーホテルをはじめ、計7件のスチュワード管理業務を新たに受注し業務を開始しました。また、個人消費の回復を背景にホテル・レストランの稼働率が上昇する中、事業所ごとの稼働状況に対応した業務提案を行うとともに、今年度より受注を本格化した清掃事業の立ち上げと営業活動を推進致しました。

この結果、売上高3,709百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は88百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

② 総合給食事業 株式会社センダン（SDN）

当事業は、従業員食堂運営を中心にレストラン運営などフードサービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、CSSと共同で相互の顧客基盤を活かした営業展開を図り、関東地区および関西地区の6件のシティホテルにて従業員食堂運営を開始致しました。また、大学病院の入院患者向けの食事提供、介護付き有料老人ホームの入居者向けの食事提供など、新たな分野への業務展開も開始致しました。

この結果、新規受注件数は11件となり、売上高は1,661百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は35百万円（前年同期比55百万円増）となりました。

③ 映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（TML）

当事業は、日本のBGMのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティー・システム、映像・音響システムの設計施工事業を幅広い顧客層向けに展開している当社グループの中核事業です。

当第3四半期連結累計期間においては、企業の設備投資計画の増加に対応した積極的な業務提案を図り、大手金融機関の本店および支店網へのセキュリティー・システムの導入工事、企業のオフィス移転に伴う音響設備工事およびネットワーク構築工事等を受注致しました。

この結果、売上高は2,606百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は74百万円（前年同期比123.5%増）となりました。

④ 音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（OTK）

当事業は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入および販売事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、プロオーディオ機器の展示会や視聴会への出展を積極的に行い、海外主力ブランドをはじめとする販促活動を推進致しました。また、日本全国を網羅する販売拠点網の構築を目的に、現在の東京本社、大阪営業所、福岡営業所に続き、本年6月に名古屋営業所を開設致しました。

この結果、都心のシティホテルや大型劇場、各地の文化ホール等への音響機器の納入を行い、売上高は1,533百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は55百万円（前年同期比53.3%増）となりました。

⑤ 総務・人事・経理管理事業 株式会社CSSビジネスサポート（CBS）

当事業は、総務・人事・経理業務をグループ会社より受託しております。

当第3四半期連結累計期間においては、外部企業複数社より給与計算業務を受託するとともに、長期的な計画に基づくITシステム機器の導入を行い、本社移転に伴うオフィス環境の整備とグループ各社の業務効率化を推進致しました。

この結果、業績は計画どおり推移致しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、7,408百万円で、前連結会計年度に対し1,438百万円の増加となりました。その主因は、売上債権の増加180百万円、有形固定資産の増加1,138百万円によるものであります。

負債の部は、借入金の増加1,171百万円などにより1,260百万円増加しました。

純資産は、178百万円増加し、1,733百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、本年1月27日付にて公表の通り当社グループの本社機能の集約による経営効率の向上と充実を目的として不動産(新社屋)を取得し、本年7月より順次新社屋への本社移転を開始しております。当第3四半期連結累計期間の業績は期初予想に対し好調に推移しておりますが、第4四半期以降、不動産取得に要した償却費用およびITシステムを含めた本社移転に伴う関連費用の発生が見込まれるため、現時点での通期業績予想の修正は致しません。修正の必要が生じましたら改めて開示致します。

(当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(役員退職慰労引当金)

一部の連結子会社は、前事業年度に係る定時株主総会において、役員退職慰労金制度を廃止し、平成23年11月30日までの在任期間に対応する退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は、各役員の退任時とすることを決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金残高を取崩し、長期未払金として固定負債の「その他」に含めて計上しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,463,317	2,466,994
受取手形及び売掛金	1,430,601	1,611,366
商品及び製品	279,873	268,265
仕掛品	129,518	158,804
原材料及び貯蔵品	6,863	22,821
繰延税金資産	21,791	33,279
未収還付法人税等	19,707	11,339
その他	90,952	162,141
貸倒引当金	△5,827	△7,448
流動資産合計	4,436,797	4,727,565
固定資産		
有形固定資産		
土地	334,673	953,028
その他(純額)	160,483	680,832
有形固定資産合計	495,157	1,633,861
無形固定資産	57,616	49,996
投資その他の資産		
投資有価証券	329,157	346,641
長期預金	300,000	290,000
その他	351,168	360,751
投資その他の資産合計	980,326	997,392
固定資産合計	1,533,100	2,681,251
資産合計	5,969,898	7,408,816
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	651,112	568,292
短期借入金	1,254,900	1,261,300
1年内返済予定の長期借入金	495,224	691,378
1年内償還予定の社債	187,000	170,000
未払金	475,501	637,125
未払法人税等	10,744	38,475
賞与引当金	128,130	157,240
その他	100,863	165,663
流動負債合計	3,303,476	3,689,474
固定負債		
社債	270,000	150,000
長期借入金	579,511	1,548,885
退職給付引当金	149,870	181,048
役員退職慰労引当金	44,614	—
繰延税金負債	34,909	32,483
資産除去債務	15,878	16,042
負ののれん	7,529	3,961
その他	9,139	53,687
固定負債合計	1,111,452	1,986,108
負債合計	4,414,929	5,675,583

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	277,699	277,699
利益剰余金	998,878	1,159,967
自己株式	△98,168	△98,168
株主資本合計	1,571,971	1,733,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,002	172
その他の包括利益累計額合計	△17,002	172
純資産合計	1,554,969	1,733,232
負債純資産合計	5,969,898	7,408,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,773,962	9,482,101
売上原価	7,293,336	7,863,309
売上総利益	1,480,626	1,618,791
販売費及び一般管理費	1,408,938	1,374,363
営業利益	71,687	244,428
営業外収益		
受取利息	2,482	1,326
受取配当金	5,600	5,893
負ののれん償却額	15,657	3,567
持分法による投資利益	2,855	2,694
その他	34,144	23,902
営業外収益合計	60,739	37,386
営業外費用		
支払利息	42,007	53,329
投資事業有限責任組合等出資金損失	1,904	757
その他	4,766	10,418
営業外費用合計	48,678	64,505
経常利益	83,748	217,309
特別損失		
投資有価証券評価損	6,398	633
減損損失	—	5,242
適格退職年金制度終了損	—	14,877
訴訟和解金	25,490	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,114	—
特別損失合計	41,003	20,754
税金等調整前四半期純利益	42,745	196,555
法人税、住民税及び事業税	27,113	46,217
法人税等調整額	△6,345	△15,796
法人税等合計	20,767	30,421
少数株主損益調整前四半期純利益	21,978	166,133
四半期純利益	21,978	166,133

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,978	166,133
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	19,267	17,174
その他の包括利益合計	19,267	17,174
四半期包括利益	41,245	183,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,245	183,308

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチュー ード管理 事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客への 売上高	3,427,067	1,646,466	1,296,241	2,402,756	8,772,532	1,430	8,773,962	—	8,773,962
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	—	—	24,303	4,571	28,875	357,128	386,003	△386,003	—
計	3,427,067	1,646,466	1,320,544	2,407,328	8,801,407	358,558	9,159,965	△386,003	8,773,962
セグメン ト利益 又は損失 (△)	73,642	△20,208	36,266	33,290	122,991	14,423	137,414	△65,727	71,687

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△65,727千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注) 3
	スチュワ ード管理 事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客への 売上高	3,709,499	1,661,639	1,498,354	2,603,730	9,473,224	8,876	9,482,101	—	9,482,101
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	—	22	35,246	2,511	37,781	165,004	202,785	△202,785	—
計	3,709,499	1,661,662	1,533,601	2,606,242	9,511,006	173,880	9,684,886	△202,785	9,482,101
セグメン ト利益	88,886	35,214	55,599	74,406	254,106	6,934	261,041	△16,612	244,428

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△16,612千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社の本社移転の意思決定に伴い、廃棄する予定の固定資産につき帳簿価額を回収可能価額まで減額して、減損損失を計上しております。計上額は、「総合給食事業」で58千円、「その他」で5,183千円となります。